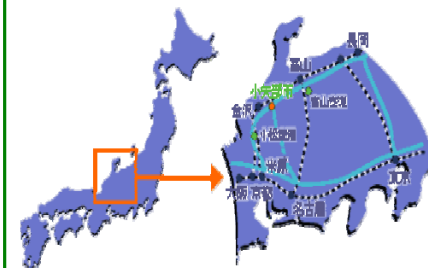


小矢部市地域公共交通活性化協議会

概要

富山県の西部に位置する小矢部市の公共交通は、利用者の減少等により一部地域で民間バス路線が撤退する中で、高齢者や子供など交通弱者への、よりきめの細かい路線配置の実現を目指し、「住んで良かった、人に優しいコミュニティバス」の運営を目標とし、その大半の利用者が高齢者であり福祉的要素を含んでいることから、費用対効果との適切なバランスを保ちながら、福祉の役割を保持するとを基本方針とした「小矢部市地域公共交通総合連携計画」を平成20年3月に策定し、その実現に向け公共交通の活性化に取り組む。

小矢部市（おやべし）



これまでの事業実施状況

【市営バス】

連携計画で掲げた“医療・福祉施設、公共施設、金融機関やショッピングセンター等を経由する路線の設置”を実現するため、平成20年6月に循環線等を新設し、その後も利用者からの意見要望を反映し、一部路線の延長や自由乗降区間の拡大などを行った。

【乗合タクシー】

バス4路線の運行空白地帯を解消するため、平成20年6月に変則デマンド式乗合タクシー4路線を導入した。その後も利用者から意見要望を反映し、4路線全ての路線を保健福祉センターや北陸中央病院まで延長などの路線変更を行った。

小矢部市地域公共交通活性化協議会

平成20年2月20日設置

【構成員】 小矢部市、加越能バス(株)、富山県バス協会、富山県交通運輸産業労働組合、小矢部自治会連合会、小矢部連合婦人会、小矢部市長寿会連合会、小矢部市商工会、小矢部市観光協会、小矢部警察署、小矢部土木事務所、富山運輸局、富山県知事政策局

平成22年度事業の概要

【市営バス】

循環線を新設し、その後も各路線の見直しを行い利用者への利便性の向上に努めてきたが、利用者から見直しても不便さが解消されていないなどの意見があり、新たな課題も出てきた。課題に対処し、計画の目標を達成するため、現行の2台から3台体制での運行で新たに路線・ダイヤの編成を策定し、その実施を図る。

【乗合タクシー】

変則デマンド式乗合タクシー事業は予約制の不便さや乗降場所の不便さ等により利用率が低迷している状況であるが、市営バスの運行空白地帯をカバーするために必要な事業であり、今年度も事業を継続し、高齢者等の交通弱者へ対応できるよう、よりきめ細かい運行を目指す。

